

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社 恵比寿加工 野田はやま工場
------------	-----------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	5 6	2 1	3 2	9 1					

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策1. 非揮発性有機化合物化の検討（水溶性）。
対策2. 排ガスを蓄熱式脱臭装置に送り、燃焼させ、99%のVOC除去を図る。 平成19年3月の工場立ち上げ時より実施、実測値99%除去。
対策3. ふた閉め等を徹底し溶剤管理を図っている。
対策4. 冷却装置の増設により蒸発量の減少を図った。
対策5. 品質管理を徹底し、不良率の減少を図り、溶剤使用量を削減する。

(その四)

工場又は事業場の名称	古河ユニック株式会社 佐倉工場
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
○	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

弊社が製造販売するトラック搭載型クレーンは、震災後の復興支援、ならびに消費税導入前の駆け込み需要と考えられる生産数の大幅増産のため、計画した揮発性有機化合物の排出等の量の削減目標を達成出来ない結果となりました。

しかしこの生産数の増加は一時的であり、平成25年度末もしくは平成26年度以降の生産台数は、その反動にて減産が予想されます。減産後の目標達成は容易と予測します。

また、塗装工程は、現状の吹付け塗装方法を廃止し、カチオン電着塗装への設備投資を実施する計画を立てており、将来的に環境負荷の少ない生産プロセスへの転換を図ります。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社 雄進 株式会社 雄進
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成24年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
<input checked="" type="radio"/> C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

基準年度から、目標年度・計画年度ともに、使用量が、大きく伸びておりますが
昨年度より生産量の減少があり排出量が減少しています。
生産量が増加しても排出量の増加を防止できるよう努力いたします。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

